

# 老桜の命 みんなで表現

塩江小 児童 地域住民に初披露



枯死したウバヒガンを語り継ごうと、完成したミュージカルを披露する児童たち＝高松市塩江町、塩江小学校

今年七月に伐採された高松市塩江町の老桜「東地のウバヒガン」を語り継ごうと、地元の塩江小学校(鬼無敬子校長)の児童が十日、ウバヒガンをテーマに制作したミュージカルを地域住民に初披露。児童たちはウバヒガンへの思いや命の尊さなどのメッセージを込めながら、それぞれの役を熱演した。

## 「ウバヒガン」ミュージカルに

ウバヒガンは、県内最古・最大の老桜とみられ、一九九八年に県天然記念物に指定された。同町のシンボルとして地域住民らに親しまれていたが、今年二月に枯死した。約四百年間、愛され続けた老桜を後世に伝えようと、児童らがミュージカル「塩江さくら物語」を制作。この日、同小の恒例イベント「収穫祭」の目玉として上演された。

市内外から約百五十人が詰め掛けた。美しい花を咲かせていた桜が枯れ、新たに命を受け継いだ幼木が成長していく過程を熱演する児童の姿に、客席からは大きな拍手が寄せられた。

会場には、児童の力作を一目見ようと、保護者や地元住民をはじめ、

ミュージカルを鑑賞した同町上西の小簀マサエさん(三)は「ウバヒガンがきれいな花を咲かせていたところを思い出した。素晴らしい演技だった」と話していた。